

Q

4月28日の全国教育長会議で、末松信介文部科学大臣は①特別免許状の積極的活用②教員養成系大学に卒業生・同窓生への教員採用の情報提供を依頼③離職した先生や免許状保持者の任用④教員採用試験の早期化・複線化を教員不足の対策として提案しました。この4つの提案で教員不足は解決すると思いますか？

基本的に解決しない

98.5%

基本的に解決する

1.5%

Q

教員不足を解決するためにあなたがのぞむ政策は？

(選択肢から複数選択)

- 教員定数増 84.1%
- 子どもと直接向き合うこと以外の不要不急の業務の削減 78.6%
- 教員の給与や休暇などの処遇改善 71.5%
- 教員への残業代支給 70.7%
- 週当たりの持ちコマ数の制限 67.1%
- 部活動指導の見直し 62.3%
- 教員の裁量、自由、尊厳の保障 58.6%
- 非正規教員が正規教員になりやすい採用制度 55.6%
- 行政主導の研修の削減 50.0%
- 非正規教員比率の上限を設け、基本は正規採用にする 49.3%
- 非正規教員の給与や休暇などの処遇改善 45.1%
- 教員の奨学金返還免除制度の復活 35.8%
- 教育委員会所属の免許保持者の派遣 18.0%

提供 宮本岳志衆議院議員、吉良よし子参議院議員

(日本共産党国会議員団 文教科学部会)